

第6号

かがみ



千代保稲荷神社参道を清掃
(22年3月撮影)

目次

編集後記	8
会員募集	8
仕事の依頼	8
会員互助会役員名簿	7
会員互助会の設立	7
シニア就業支援プログラム	6
シルバー派遣事業	6
○職種別配分金内訳	
○正味財産増減一覧表	
決算状況	4 5
○年度別事業実績	
事業報告	2 3
総会	2

(社) 海津市シルバー人材センター

URL <http://www.kaizu-silver.jp>

〒503-0311 海津市平田町仏師川483 TEL 0584-65-0468 FAX 0584-66-5151 E-mail kaizu-sjc@comet.ocn.ne.jp

平成二十一年度 第二回通常総会

平成二十一年度第二回通常

総会を三月二十五日に、海津市長松永清彦様、岐阜県県議会議員森正弘様、海津市議会議長星野勇生様のご臨席を頂き、海津市文化センターで開催しました。

議案は次のとおりです。

第一号議案 平成二十一年度収支補正予算の専決処分
の承認について

第二号議案 労働者派遣元事務所の届け出の専決処分の承認について

第三号議案 平成二十二年
度事業計画（案）について

第四号議案 平成二十二年
度収支予算（案）について

第五号議案 理事（補充）
の選任について

（補充理事 横井五月）

第六号議案 理事長に対する
権限委任について

これらの六議案は慎重審議
の結果、いずれも原案のお

り可決承認されました。

議事終了後、「会員互助会
の設立について」が協議され、
承認されました。

また、安全・適正就業地区
安全対策員に委嘱状が交付さ
れました。

対策員には、安全・適正就
業委員の皆様と、安全・適正
就業に対する協議と作業の巡
回パトロールを行っていただ
きます。

地区安全対策員さんは、次
の方々です。（敬称略）

方野 正弘
瀬古 幸衛

平成二十二年 度第一回通常総会

平成二十二年第一回通常

総会を五月二十六日に、海津市長松永清彦様、岐阜県県議会議員森正弘様、海津市議会議長代理文教福祉委員長飯田洋様のご臨席を頂き、海津市文化センターで開催しました。

議案は次のとおりです。

第一号議案 平成二十一年度収支補正予算の専決処分の承認について

第二号予算 平成二十一年度事業報告の承認について

第三号議案 平成二十一年度収支決算の承認について

第四号議案 平成二十二年
度収支補正予算の専決処分の承認について

第五号議案 理事長に対する
権限委任について

これらの五議案は慎重審議
の結果、いずれも原案のお
り可決承認されました。

平成二十一年度 事業報告

「自主・自立・協働・共助」

の理念のもと、新たな就業分
野の開拓や普及活動に努め、
より効果的、効率的な事業の
推進を積極的に展開してまい
りました。

事業概要は、次のとおりで
す。

◆受託事業

公共事業及び企業並びに一
般家庭からの発注件数は増加
しましたが、派遣でしか受注
できない業務の見直し指導に
より、契約金額は、前年度と
比較して約一二％の減少とな
りました。

◆普及啓発事業

センター事業をより深く理
解していただくために、広報
誌「いきがい」を発行し、市
内全戸に配布しました。

第四号 九月一日に発行
第五号 四月一日に発行



◆就業機会開拓提供事業

より多くの会員に就業機会を提供できるよう、新規事業の開拓を行いました。その結果、若干ではあります、就業率が一・七%増加し、八〇%となりました。

◆安全対策事業

安全・適正就業対策のため、安全・適正就業委員会を二月に一回開催するとともに、委員並びに地区安全対策員による巡回パトロールを実施し、就業中の会員に安全就業を呼びかけました。

五月八日 白山公園、
だんだん公園
七月十日 J A 海津育苗センター
九月十一日 木曽三川公園・草刈り現場
一月八日 日本環境管理センター
三月十二日 今尾小・石津小の剪定

◆会員の福利厚生事業

一日研修を実施し、会員相互の交流と親睦を図りました。

◆役員研修

役員の研修として、社団法人名張市シルバー人材センターと高山市の木質燃料株式会社を視察研修しました。

◆会議等

総会
五月二十七日第一回通常総会
三月二十五日第二回通常総会
理事会
五月十五日 第一回理事会
五月二十七日 第二回理事会
六月二十四日 第三回理事会
十月十六日 第四回理事会
十二月七日 第五回理事会
二月五日 第六回理事会

年度別会員数・受注件数等実績

区 分		1 8 年度	1 9 年度	2 0 年度	2 1 年度
会員数 (人)	男性	311	332	344	346
	女性	274	279	283	261
	計	585	611	627	607
	前年比	25	26	16	△20
受注 件数 (件)	公共	1, 003	222	278	282
	民間	1, 306	824	813	865
	計	2, 309	1, 046	1, 091	1, 147
	前年比	165	△1, 263	45	56
就業率 (%)		81. 0	82. 0	78. 3	80. 0
前年比		△1. 0	1. 0	△3. 7	1. 7

平成18年度からの年度別会員数及び受注件数、並びに就業率の推移は上表のとおりです。受注件数は、定期的に利用していただけるリピーターのお客様の固定化により増加しました。

三月一日
三月十八日

第七回理事会
第八回理事会

会計監査

五月八日 平成二十年度会計監査

正味財産増減計算書

単位：円

科 目	平成20年度	平成21年度	前年比
1. 一般商務財産増減の部			
経常収益			
受託事業収益	247,758,090	219,139,763	△28,618,327
受取配分金	227,622,962	201,878,782	△25,744,180
受取材料費等	8,796,931	7,255,484	△1,541,447
受取事務費	11,338,197	10,005,497	△1,332,700
受取会費	766,000	1,347,000	581,000
正会員受取会費	634,000	1,224,000	590,000
賛助会員受取会費	132,000	123,000	△9,000
受取補助金等	28,277,752	28,591,844	314,092
受取連合交付金	9,500,000	9,500,000	0
受取市補助金	18,777,752	19,091,844	314,092
受取負担金	656,000	756,000	100,000
雑収益	46,003	9,762	△36,241
特定資産運用益	3,004	4,263	1,259
経常収益計	277,506,849	249,848,632	△27,658,217
経常費用			
事業費	244,878,430	219,391,461	△25,486,969
受託事業費	236,285,654	209,086,133	△27,199,521
支払配分金	227,622,962	201,878,782	△25,744,180
支払材料費	8,662,692	7,207,351	△1,455,341
安全・適正就業推進費	403,142	263,309	△139,833
普及啓発費	1,430,662	1,257,497	△173,165
就業開拓提供費	6,623,833	8,420,936	1,797,103
調査研究費	135,139	363,586	228,447
管理費	29,718,924	30,184,827	465,903
人件費	25,877,752	25,591,844	△285,908
一般運営費	3,841,172	4,592,983	751,811
経常費用計	274,597,354	249,576,288	△25,021,066
当期経常増減額	2,909,495	272,344	△2,637,151
2. 経常外収益の部			
経常外収益			
過年度修正益		67,500	67,500
経常外費用			
過年度減価償却償却費		3,090	3,090
当期経常外増減額		64,410	64,410
当期一般正味財産増減額	2,909,495	336,754	△2,572,741
一般正味財産期首残高	27,528,290	30,437,785	2,909,495
一般正味財産期末残高	30,437,785	30,774,539	336,754

※ 一部小科目を省略し、合計額を計上

平成二十一年度
決算状況

市に統合してから右肩上がりで推移してきました受取配分金等受託事業収益は、二十年度に比較して一一・六％減の約二億一、九一四万円で、派遣の見直し指導等により、二、八六一万円の大幅な減収となり、配分金は減少しました。



職種別配分金の内訳は、別表（５ページに掲載）のとおりです。剪定作業は増額になりましたが、草刈り、清掃等の一般作業や施設管理は減少しました。

受託事業収益
219,139,763 円
(前年対比△11.6%)

受託事業費
(支払配分金等)
209,086,133 円
(前年対比△11.5%)

■お詫びと訂正

四月一日発行の第五号「いきがい」に掲載しました「平成二十一年度賛助会員」に記載誤りがありましたので、お詫びし訂正します。
綿半インテック（株）
（掲載漏れ）
四十一企業（正）
四十企業（誤）

職種別配分金額

単位：円

職 種		平成20年度	平成21年度	前 年 比	主な仕事内容
技 術		14,656,373	10,412,502	△4,243,871	運転
技能	剪 定 等	21,365,993	23,255,208	1,889,215	剪定・襖張り
	その他 (プラスチック加工等)	10,811,426	8,958,312	△1,853,114	プラスチック工場 部品加工工場
事 務		3,612,800	3,255,033	△357,767	図書整理事務 調査事務
管 理		32,407,475	29,435,100	△2,972,375	庁舎管理
折衝・外交		1,241,990	940,575	△301,415	広報誌配布 店員
一般作業	草 刈 り	21,976,150	20,828,900	△1,147,250	草刈り 芝刈り
	草 取 り	8,281,700	6,408,775	△1,872,925	草取り
	清 掃	31,991,693	26,942,940	△5,048,753	屋内外清掃
	そ の 他	56,706,062	52,937,687	△3,768,375	屋内外工場作業 農作業
サービス	学 童 保 育	22,692,900	16,533,600	△6,159,300	学童保育指導員
	そ の 他	1,878,400	1,970,150	91,750	水屋ガイド
合 計		227,622,962	201,878,782	△25,744,180	

主な減少理由 ○技術・・・給食センターの統合による。
○管理・清掃・・・施設の指定管理者移行による。
○一般作業その他・・・労働者派遣業務への移行による。
○学童保育・・・日日雇用指導員への移行による。



(南濃町)



(平田町)

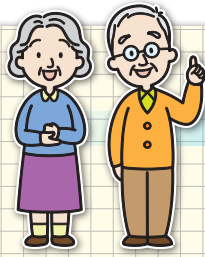
市シルバー人材センターボランティア活動の一環として、有志による清掃活動が南濃町地内と平田町地内でそれぞれ行われました。
三月二十二日に、南濃地域の有志が、吉田出来山公園、三月三十日には、平田地域の有志三十人が参加して、千代保稲荷神社の参道を清掃しました。

清掃活動を実施



七月二十二日に岐阜県シルバー人材センター連合会主催の「平成二十二年度安全・適正就業対策研修会」が岐阜県人材センターで開催されました。その会において、樋口委員長が西濃ブロックを代表して、海津市シルバー人材センターの安全・適正就業委員会が行っている委員会活動や、巡回パトロール等の活動事例を発表されました。
この研修会には、各シルバー人材センターの安全・適正就業委員等関係者が出席して行われ、樋口委員長その他四ブロックの代表者が、それぞれの活動内容を発表しました。

樋口委員長が事例発表



シルバー派遣事業

問い合わせ (社) 海津市シルバー人材センター
TEL (0584) 66-0468

シルバー派遣事業とは、シルバー人材センターから派遣された会員が、お客様の指揮命令を受けて、派遣先のために労働に従事することを業として行うことをいいます。また、従業員との混在作業も可能です。

「請負就業」と「シルバー派遣」の比較

項 目	請負・委任	シルバー派遣
	時間に拘束されことなく 自分のペースで働きたい方	決められた日数・時間で 定期的に働きたい方
仕事の期間・内容	臨時的・短期的な就業（概ね月10日程度以内） 又は簡易な業務（週20時間未満のもの）	
雇用関係の有無	な し	あ り 労働契約は(社)岐阜県シルバー 人材センター連合会と締結
発注者の指揮命令	受けない	受ける
事故時に適用される保険	シルバー保険	労働者災害補償保険(注)
発注者との契約当事者	(社)海津市シルバー 人材センター	(社)岐阜県シルバー 人材センター連合会
社会保険・雇用保険の適用	な し	
会員に対する報酬	配分金（雑所得）	賃金（給与所得）
事務費・手数料	配分金の5%	派遣会員賃金の20%

(注) 派遣労働中（通勤途上を含む）のみ

あなたの希望を橋渡しいたします

登録料
無料

シニア就業支援プログラム事業とは、雇用・就業や社会参加などを希望する55歳以上の高齢者を対象に、多様な関係機関で構成するネットワークと連携・協力し、ワークショップの実施や高い労働意欲と能力を有する高齢者と企業等とのマッチングの実施支援を行うことを目的としています。

高齢者の雇用・就業の受け入れを希望される企業・事業所及び団体・自治体等、また就職・就業や社会参加等を希望される高齢者は是非登録していただき、ご活用下さい。相談等も受け賜っています。

連絡先 (社) 岐阜県シルバー人材センター連合会
〒500-8145 岐阜市雲井町3丁目12番地
TEL 058-249-0228 (FAX 058-248-9730)
シニア事業支援プログラム事業 担当：田中・中辻

会員互助会を設立

会員の相互扶助と親睦を図ることを目的に、海津市シルバー人材センター会員互助会が設立されました。

互助会では、目的を達成するため、次の事業を行います。

① 会員の趣味、技量を活かした事業

② 会員の親睦を深める事業

③ 会員の見舞い、弔慰に関する事業

なお、設立総会で承認された主な事項は、次のとおりです。

会費 五〇〇円

※シルバー会員登録をされる方全員に、加入をお願いしています。

傷害見舞金 五、〇〇〇円

ただし、就業中の傷害により七日以上入院の場合

弔慰金 一〇、〇〇〇円

役員 別表のとおり

会員互助会役員名簿

(平成22年4月1日～平成23年5月31日)

職 名	氏 名	備 考
会 長	神 野 眞 澄	理事長
副会長	森 川 昇	副理事長
幹 事	横 井 五 月	常務理事
〃	西 脇 幸 雄	理 事
〃	田 中 義 久	〃
〃	安 達 芳 明	〃
〃	鈴 木 忠 雄	〃
〃	吉 村 善 彦	〃
〃	松 本 久 子	〃
〃	中 島 千寿子	〃
〃	毛 利 喜久雄	〃
〃	佐 藤 克 己	〃
〃	後 藤 光 義	〃
〃	宮 脇 幸 子	〃
〃	大 杉 正	〃
〃	樋 口 武比古	〃
〃	伊 藤 芳 孝	理事・地区長
〃	星 野 英 子	地区長
〃	森 實	〃
〃	伊 藤 栄 俊	地域班長
〃	田 中 豊	〃
〃	牧 野 光 子	〃
監 査	岡 本 敏 孝	監 事
〃	方 野 正 弘	〃
書 記	菱 田 有 美	職 員
会 計	柚久保 美 奈	職 員

(敬称略)

安全・適正就業活動目標を設定

安全・適正就業委員会は、事故防止の一環として、年間活動目標を設定しました。

本人障害・賠償責任事故「ゼロ」を目指し、次のようなことに心がけましょう。

本人障害・賠償責任事故「ゼロ」を目指して

① 就業前ミーティングの

実施

○危険作業となりうる場所、

状況を話し合い、安全意識の高揚と事故防止

○お互いの顔色をチェックし、

体調を確認

○安全保護具の着用と機械器具等の点検

② 就業途中の事故防止

○時間に余裕を持った行動に心がける

○バイク、自転車には、反射材等の交通安全グッズを活用する

シルバー人材センターのご案内

あなたの豊富な経験・知識・技術を 活かしませんか

◎シルバー人材センターとは

シルバー人材センターは、高齢者の生きがいとして、臨時的かつ短期的な仕事や簡易な業務を一般家庭、企業、公共団体から引き受け、会員に提供する公益法人です。

就業や収入の保証はありませんが、会員の希望と能力に応じた働き方ができます。

会員には、センターから就業の実績により配分金が支払われます。

◎会員になるための条件

市内在住で、おおむね60歳以上で、健康で働く意欲のある方。

◎入会手続き

次のものを持参して事務局までお越し下さい。

○年会費 2,000円

○写真

○配分金振込先の通帳番号

○通帳の印鑑

別途互助会加入
会費500円

◎その他

センターにおいて、傷害・賠償責任に対するシルバー保険に加入します。

真心を込めて、お手伝いします

◎技能的な仕事

簡単な大工仕事
剪定、消毒など

◎軽作業

事務所・一般家庭などの清掃・除草・草刈りなど

◎管理的な仕事

屋外・屋内の施設管理 駐車場・駐輪場などの管理

◎サービスの仕事

販売・チラシ配布
ポスター貼り
会議・イベントの補助
調理作業・雑役 観光ガイド など

◎事務的な仕事

年賀状・暑中見舞い・手紙・はがきなどの宛名書き
賞状・席札・名札などの浄書
伝票整理・パソコンなど

1時間ほどで終わる簡単な仕事でもお受けいたしますので、気軽にお尋ね下さい。
お電話お待ちしております。

シルバーに対するご意見がありましたらお聞かせ下さい。

事務局（お申し込み・お問い合わせ）

社団法人 海津市シルバー人材センター 海津市平田町仏師川 やすらぎ会館内（2F）
TEL (0584) 65-0468 FAX (0584) 66-5151

会員数 男性 298人 女性 221人 計 519人（平成22年8月1日現在）

編集後記

本センターも、海津市シルバー人材センターとして六周年を迎えております。発足当初の願い達成のため、多くの方々のご理解、ご支援のもと本日まで、その歩みを進めてまいりました▼センターが迎えているこの時期は、創業、守成と区分すると、守成の時期と、とらえられます。即ち、創業を受け継ぎ、事業を守る守成期をむかえています▼多くの方々のさまざまな期待を集めて発足した創業期に比べると、会の維持、守成のためには、持続性のある確かな志と強い使命感が必要かと思えます▼事務局の改革、求人依頼主の開拓、その結果としての会員増、広報誌編集方針の見直し等々、様々な地味な努力が始まってまいります。その成果は、徐々に必ず現れてくるものと思います。▼会員の皆様を始め、多くの方々のご理解、ご協力をお願いします。

（編集副委員長 鈴木忠雄）